

新電気料金メニュー

「ピークシフトプラン」のご案内

<ピーク抑制型季節別時間帯別電灯>

夏の電気ご使用のピーク時(午後1時～4時)や昼間にお使いいただく電気を上手にシフトしていただくことが可能なお客さまにおすすめします。

「ピークシフトプラン」では、電力量料金単価を夏季(7～9月)は3つ、その他季(10～6月)は2つの時間帯に分けて設定しています。電気のご使用時間帯を、ピーク時間から昼間時間・夜間時間に、または昼間時間から夜間時間に、上手にシフトしてお使いいただくなどの工夫で、電気料金の低減が可能となります。

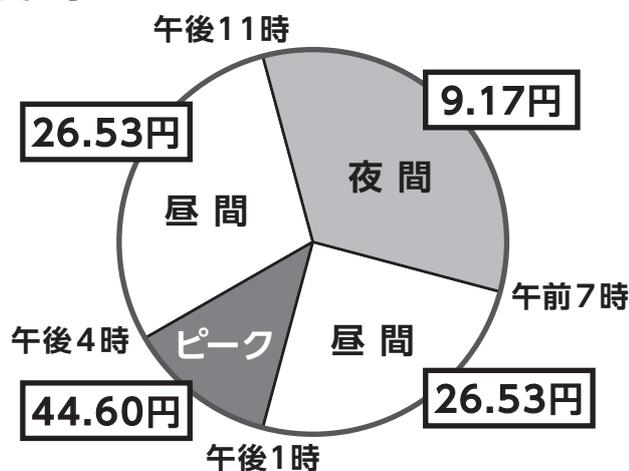
(1) 季節区分

夏 季…毎年7月1日から9月30日
 その他季…毎年10月1日から翌年の6月30日

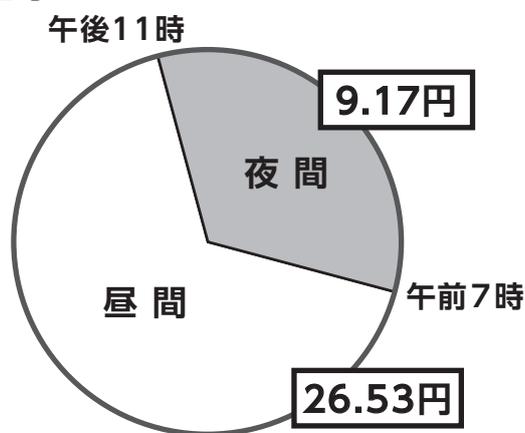
(2) 時間帯区分

ピーク時間…夏季の毎日午後1時から午後4時まで
 昼間時間…ピーク時間を除く毎日午前7時から午後11時まで
 夜間時間…毎日午後11時から翌朝の午前7時まで

■ 夏季



■ その他季



※グラフの金額は、1kWhあたりの電力量料金単価(税込)です。

		単 位	料 金 (税 込)
基本料金	契約容量	6kVA以下の場合	1契約 1,260.00 ^{円 銭}
		7kVA～10kVAの場合	" 2,100.00
		11kVA以上の場合	" 2,100.00円 + 273.00円 × (契約容量 - 10kVA)
電力量料金	ピーク時間	1kWh	44.60 ^{円 銭}
	昼間時間	"	26.53
	夜間時間	"	9.17

○電力量料金は、燃料価格の変動に応じて燃料費調整額を加算あるいは差し引きます。

○電気料金を算定する際は、太陽光発電促進付加金を加算します。

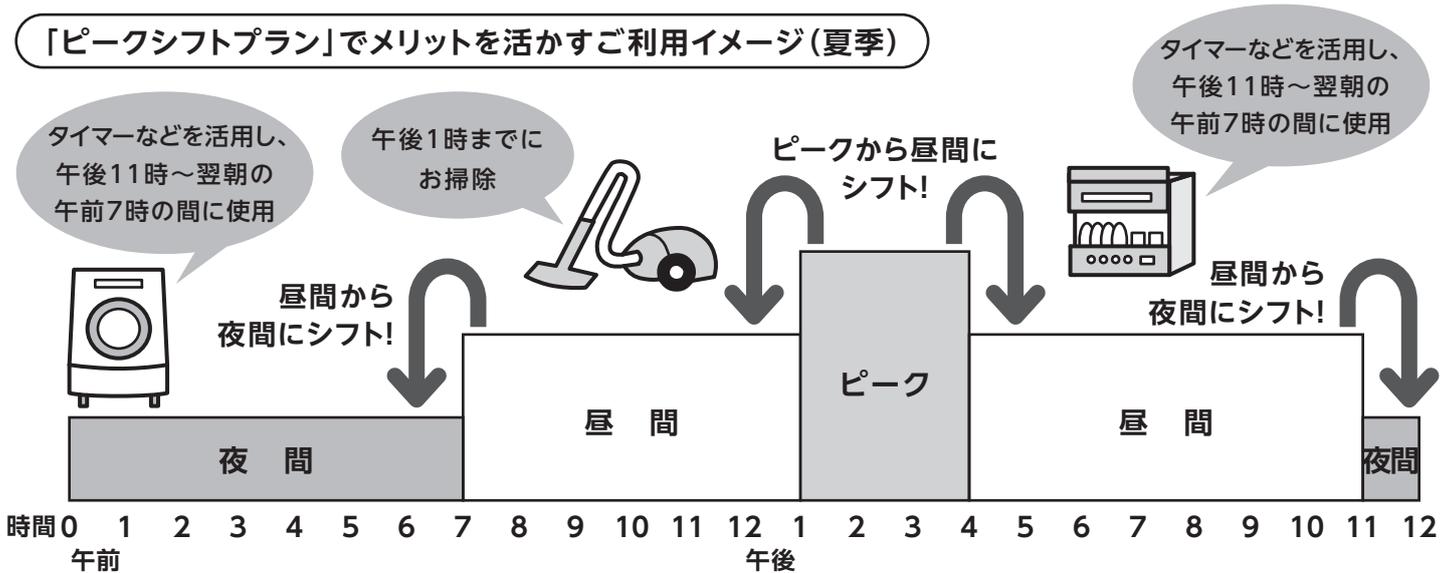
○当社は、電気料金の値上げに関わる電気供給約款の変更について経済産業大臣に申請しており、認可された場合には、上記の料金についても変更させていただく予定です。

平成24年6月1日実施
 東京電力株式会社

「ピークシフトプラン」のメリットを活かすには

- <例えば>
- ①ピーク時間にお使いになる電気製品を昼間時間に使用する。
 - ・掃除機は、午後1時まで(もしくは午後4時以降)に使用する。
 - ②ピーク時間の電気の使用を減らす。
 - ・午後1時から午後4時まで、エアコンの設定温度を28℃にする。
 - ・午後1時から午後4時まで、エアコンを消して扇風機を使用する。
 - ③タイマーなどを活用して、電気の使用を夜間時間にシフトする。
 - ・食器洗い乾燥機を、午後11時から翌朝の午前7時までに使用する。
 - ・洗濯機や電気炊飯器を、午後11時から翌朝の午前7時までに使用する。

「ピークシフトプラン」でメリットを活かすご利用イメージ(夏季)



ここがポイント! 「従量電灯」と「ピークシフトプラン」の電力量料金単価の違い

スタンダードな電気料金メニュー「従量電灯B・C」は「ピークシフトプラン」と違い、季節や時間帯に応じて電力量料金単価を設定していません。1月のご使用電力量に応じて3段階の電力量料金単価を設定しております。

■「従量電灯B・C」の1kWhあたりの電力量料金単価(税込)

最初の120kWhまで	17.87円
120kWhをこえ300kWhまで	22.86円
上記超過	24.13円

※上記の電力量料金単価は、平成22年10月12日実施の電気供給約款の料金です。

「ピークシフトプラン」の試算コンサルのご案内

「ピークシフトプラン」の詳しい内容やコンサルのお申し込みは、お近くの東京電力までお気軽にご連絡ください。また、東京電力ホームページでは、現在の電気料金と「ピークシフトプラン」にご契約変更した場合の電気料金を比較できる、ピークシフトプラン加入シミュレーションをご利用いただけます。

[東京電力 ピークシフトプラン](#)

[検索](#)

お問い合わせは